

トピック

技術講演と新製品発表展開催

過去最高の来場者、盛況裡に終わる

株式会社 共和電業

計測の多機能化、高度化が進むにつれてハードウェアとソフトウェアは互いに関連が深まってきている。それをテーマとして(株)共和電業の技術講演と新製品発表展がさる9月20日(火)、21日(水)東京交通会館(東京・千代田区・JR有楽町駅前)12階ダイヤモンドホールで開催された。両日で4100名以上の来場をいただき、盛況のうちに終えることができた。

技術講演では、要望の多いソフトウェアを中心とした講演として斯界のオーソリティの方々に講演をお願いした。そのテーマを表に示す。各テーマとも多数の方々に聴講いただいた。また、入門セミナー『ひずみゲージの選び方、貼り方』も好評を博した。

展示された新製品のうち主なものをご紹介します。耐湿性と操作性のすぐれた新しい汎用箔ひずみゲージ(KFGゲージ)。高精度・小型の引張型ロードセル(LTZ-A、容量500kg~2tf)。小型変位変換器(DT-F、容量10、20、30mm)。

1台で測定、記録、表示、処理などが可能なデータアナライザ(DAA-100A)。波形モニターが2ch同時にできるデータレコーダ(RTP-670A)。多チャンネルのアナログデータをデジタル多重化してデータレコーダのテープの1トラックに記録できるPCM記録・再生システム。各種シグナルコンディショナを同一ケースに装着できるマルチコンディショナクラスシステム(MCCシリーズ)用カード(熱電対用、騒音計測用、ピエゾ加速度計用など)。

土木・建築用計測器関係では、水位計(BWL-A)、地すべり観測

システム(DAPS-8000; 建設省技術評価製品87205)現場でのデータ集録用ラップトップ型デジタルレコーダ(RLT-A)など、また地下大空洞、海洋計測システム展示も好評を博した。

技術講演テーマと講師

パソコンを使った最新の計測制御	電気通信大学教授	工学博士 竹内芳美氏
橋梁の変形と疲労	東京工業大学助教授	工学博士 三木千壽氏
ひずみゲージ誕生50年	元国鉄鉄道技術研究所	主任研究員 中村和雄氏
建設現場における計測(セッション)		
・建設工事における計測の現状	東京商船大学助教授	苦瀬博仁氏
・現場計測マニュアル編纂について	佐藤工業(株) 電算技術システム課	課長 植松健氏
・現場計測事例と問題点		
〈現場計測管理事例と問題点〉	(株)大林組 土木技術第1部	技師 土屋幸三郎氏
〈現場計測システム事例と問題点〉	五洋建設(株) 技術本部プロジェクトチーム	アシスタントリーダ 結城知史氏

